

体験！ 配食サービスボランティア

08



配達ボランティアに毎週参加する三上勝子さん(上赤名)。丁寧に声をかけながら、5〜6軒に配達します。

07



お弁当を「配達ボランティア」へ引渡し。配達先の地図も準備してあります。

06



お弁当には、デイサービスの利用者や保育所児童などが作った掛け紙を添えます。

09



「暑いので体調に気をつけてくださいね」と気遣いながらお弁当を渡す三上さん(左)。利用者の石田典子さん(上赤名/右)は「お弁当を届けてもらい助かっています。いつも楽しみ」とほほ笑みます。

ボランティアに登録しませんか？

調理、配送ともボランティアが不足しています。年に1回の参加でも大歓迎です。

【調理ボランティア】

●時間 13時～16時

●場所 [火曜日]

飯南町保健福祉センター(頓原2064番地)

またはさつき会館(八神117番地1)

[金曜日]

来島保健センター(野萱1831番地2)

【配送ボランティア】

●時間 15時30分～16時30分

●配達場所 [火曜日] 頓原地区、志々地区

[金曜日] 赤名地区、来島地区、谷地区

問合せ先 飯南町社会福祉協議会 ☎76-2170

配食サービスを利用したい人

高齢者世帯等で調理が難しく、食事を摂りにくい人は、配食サービス(1食あたり350円/R7.7月現在)を利用することができます。

詳しくはお問合せください。

問合せ先 保健福祉課 ☎72-1770

飯南町社会福祉協議会 ☎76-2170

曾田副町長

調理ボランティアに挑戦！

衛生面にすごく気を使いましたね。大勢の人が食べるお弁当なので、家で料理するのは気持ちも違いました。私でもできるのか不安でしたが、食材を切る、炒める、和えるなど簡単な作業で、一品完成することができました。お弁当を楽しみにしてくれている人がいると思うとやりがいがあります。次は配送ボランティアにも挑戦してみたいです。



お弁当でつながる

見守りの輪

配食サービスには、高齢者の安否確認という役割もあります。お届けの際の立ち話では、畑仕事や体調の話も。留守のため直接お弁当を渡せなかったお宅には、社会福祉協議会から電話をするなど、丁寧な見守り活動が行われています。

01



02



調理に挑戦する曾田副町長(右)。大量の食材に戸惑いながらも「きゅうりの酢の物」が完成。

03



1品ずつ丁寧に盛り付けます。

05



食材数も多く、おいしそうな料理の数々が仕上がっていきます。ハンバーグ、揚げ物など手の込んだメニューが登場する日も。

04



毎回6名で協力しながら調理します。「どれくらいの大きさに切ろうか」など相談しながら調理するので、料理に少し自信がなくても、安心してボランティアに参加できます。

暮らしを支える

配食サービス

飯南町社会福祉協議会が実施している「配食サービス」は、多くのボランティアの力で支えられています。ボランティアはどんなことをするの？その疑問に答えるため、お弁当を作る「調理ボランティア」を体験しました。



体験！

配食サービス

ボランティア